

ふかまちのまじ

第一四三号 〇六年 四月一日
発行元 深町町内会連合会
連絡所 六三三三八八二

町内会連合会活動報告

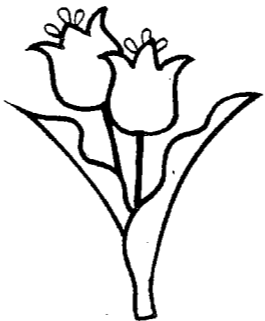
深町町内会連合会

会長 高崎 修

年度末役員会(三月二五日)

本年度最後の役員会を開催して、平成十七年度の事業報告と決算報告を行いました。
本年度の講委員の方の活動は本日が最後となり、総会には新年度の役員の方に出席して頂くこととなります。

一年間を通じて役員の皆様には連合会活動を強力に推進して頂き、誠に有難うございました。
新年度につきましても前年度と同様の事業を予定しています。ご協力よろしくお願い致します。



深小だより

中学校へ向けての決意



安藤千晶

○積極的に自分から行動する。
陸上部に入って、がんばる。

○新しい友だちをたくさん作る。

英語の勉強もがんばる。

植田峻輔

○野球部に入ってがんばる。
自分の考えをしっかり言う。

河本拓也

○バスケット部に入って体を鍛える。
あいさつをきちんとする。

岸 海甫

○野球をがんばる。
責任感を持って行動する。

小柴浩樹

○友だちをいっぱい作る。
国語と数学をがんばる。

国際交流行事のお知らせ

留学生と日本料理・タイ料理をつくらう

如水館中学・高等学校では、国際理解を深めるため、海外からの留学生の受入れを積極的に進めています。今年度も現在のところ、九名の留学生を受け入れる予定です。

今年度は、深町の皆様にも留学生との触れ合いを体験していただき、また、留学生にも日本文化を体験させてやりたいと思います。次の通り「料理作りを通じての国際交流体験」を計画しました。老若男女を問わず、お気軽に参加ください。



日時 四月二二日(土)
午前一〇時～午後二時

場所 如水館中学・高等学校
調理室

参加希望の方は、四月二〇日(木)までに左記までご連絡ください。

如水館中学・高等学校

国際交流室

電話 63-2423(代表)

担当 信清 光弘

藤井 朱美

新谷真央

○テニス部でがんばる。
予習・復習をきちんとする。

綱掛 翔

○勉強をがんばる。
陸上部でいい記録をだす。

長尾純志

○サッカーをがんばる。
勉強もコツコツと努力する。

畑中真璃乃

○バレー部でみんなと協力しながらがんばっていく。
テニス部に入ってがんばる。

藤井美桜

○たくさん友だちをつくる。

村田 蘭

○テニス部の練習をがんばる。
自分の意見をはっきり言う。

力武扶美子

○家でもしっかり勉強する。
自分から友だちに話しかける。

クラブ活動のお知らせ

下組 梶谷 和伸

「ふかまちのまじ」の先月号でお知らせしましたプレー時間が次の通りに変更になりました。

○毎月第四日曜日 午前九時
○場所 深小学校グラウンド

年齢・性別を問わず多数の方のご参加を期待しています。

ソフトボール

子ども会会長 小川和彦

三月二六日に行いました「六年生を送る会」を終え、平成十七年度の子ども会活動も無事終了する事が出来ました。これからは、市内の皆さま方の温かいご支援のたまものと感謝しております。

今後とも役員一同、力をあわせて活動してまいりますので、よりいっそうのご支援、ご協力をお願いいたします。

ソフトボールの大会も始まり、子ども達は元気一杯に練習に試合にと頑張っています。



〈試合結果〉

○三原リーグ(三月五日)

深町0-3三原パワース

深町4-5中之町

深町4-9糸崎ドンキーズ

○ジャガーズ杯(三月二二日)

深町2-7上小ジャガーズ

深町6-1三成

キックベースボール

監督 宮永浩士

今年度より「深町子ども会キックベースボールチーム」の監督をさせて頂いています。

現在メンバー十一名ギリギリの人数で頑張っていますが、子ども達の元気な声を通い合ひ練習は活気に満ちあふれています。

練習は、毎週土曜日の午後から、日曜日は午前中深小のグラウンドで行っています。チーム一同入部を待っています。是非一緒に汗を流してみませんか?

子供達が良い思い出をたくさん残せるよう全力を尽くしていきたいと思えます。継続は力なり。優勝を目指して頑張ります。

尚、この度、ユニホームを新調させて頂きました。大切に使用させて頂きます。ありがたうございました。五月の運動会の際に皆さんに披露したいと思っております。

謹んでお悔やみ申し上げます

高崎 綾子様 九九歳
(中組 田屋講) 三月一日
奈賀 隆雄様 八九歳
(上組 清国講) 三月二七日

深町各種団体四月行事予定

◆町内会連合会

二二日

◆上・中・下組各町内会

九日

◆小学校・幼稚園

六日

◆就任式・始業式

七日

◆離任式

十日

◆身体測定・聴力検査

十一日

◆入園式①・集金日

十二日

◆貯金日

十三日

◆寄生虫・尿検査

二十日

◆参観日・PTA総会

二一日

◆眼科検診

二四日

◆読み語り

二五日

◆家庭訪問

二六日

◆避難訓練(火災)

二七日

◆なかよし遠足

二八日

◆如水館中学・高校

六日

◆始業式

七日

◆入学式

六日

梅は咲いたか桜はまだかいな。桜の開花は待ち遠しいものです。やはり何と言っても、花と言えれば桜、桜といえれば花見、桜は日本人の心を惹きつけます。(桜と菊は日本の国花)。もともと桜の花見は祓(はらえ)のため、山野へ出かける宗教的儀式であったが、江戸時代になって花見は庶民的なものになってきて盛んになったといえます。

その桜も咲いたと思ったらアツという間に散ってしまいます。とかく花見頃は雨がよく降るもので、江戸の川柳にも「降るならば早く降りやがれ花の朝」と、天氣にヤキモキする江戸っ子の心情が窺えます。散る桜残る桜も散る桜・華やかさとはかなさが象徴された花でもあるようです。だからこそ、誰からも愛されるのかもしれない。勿論「花より団子」を楽しむ方もいます。(江戸の川柳「花に背をむけて団子を喰うて居る」)。

昭和三十年代頃までは、子供達は山桜も咲く四月八日頃、近くの山へ弁当を持って登り、一日中山で遊んで帰るといふ風習がありました。いつの間にか消えてなくなりました。

昨年三月、町内有志のボランティアにより、上組公民館付近の市道に沿った山裾に桜の苗木が約二〇〇mにわたって植樹されました。やがてこの桜の下で町内の老若男女が集い、花と団子で心の触れ合いも深め春のひと時を楽しみ過す日も来るでしょう。その頃にはこの桜を植えた人は花咲かじいさんや花咲かばあさんになって、思い出話に花を咲かせることでしょう。

